



6月は「心のきずなを深める月間」 「人権月間」です。

熊本県では、6月を「心のきずなを深める月間」とし、県下の小中学校、高等学校、支援学校では、いじめをなくし、許さない学校・学級をめざした取組を行っています。

宮原小学校でも、一人ひとりに教育相談を行ったり、「なかまづくり」の授業に取り組んでいってま。3年生では、「このままだまっていいのか」というお話でなかまづくりについて学びました。授業を通して子どもたちが、差別している自分を自覚し、「差別は、差別する側の問題である」と捉え、自分で変わろうとする姿を期待します。自分が差別をしたことを認め、葛藤しながら変わっていかうとすることが、本当のなかまになることだと、この教材を通して学んでほしいです。

このままだまっていいのか

「みなとくん、ちゃんときいてるの！また、ぼおとして。」

ぼくは、先生たちからよくおこられる。この前なんか

「人の話、聞いているのか！」

つて、おこられた。

二年生の時は、友だちから

「ぼおとして、耳が ちくわだろう。」

つて、からかわれた。

その時、れんくんが

「そんなこと 言うな。」

つて、いつてくれた。びつくりした。だって、れんくんは ちよつとやんちゃで、先生に よくおこられていたから。でも、それから れんくんの そばにいと、

なんか 安心するようになったんだ。

三年生になると、れんくんといっしょに いつも五人くらいで あそんでい

た。れんくんが 何か言うと、みんな

「れんくんの 言うとおりで いいよ。」

つて言うて、すぐ決まるんだ。この前は、ベランダに 友だちを

とじこめて あそんで 先生に おこられた。その後の 話合いで、

「だって、れんくんが しようつて 言いました。」

つて みんな 言ったんだ。れんくんは、

「おこられるとき、なんで いつも おれだけのせいにするの。」

おかしいつて 思うなら、その時 言うてくれれば いいのに。」

つて、おこった ような、かなしい ような 顔で 言うてた。

2

同じクラスの いつきくんが、ある日 作文を みんなの前で 読んだ。

ぼくは、友だちから「きたない」つて 言われます。前、おしりを三回つづけて けられました。いたかった。けど、だれにも 言わなかった。見てた人も いたけど、たすけて くれなかった。がまんするか、と思った。もつとぶんなぐられる かもしれないから。「ばか。」とか 言いたかったけど、がまんした。



な か よ く し ょ う か た り あ お う ま る い 心 で つ な が ろ う

No.2の2 2023年6月23日(金) 文責：校長：高橋・人権同和教育主任：澤本

ぼくは、はなをほじくってしまうから、友だちから「きたない。」って言われる。でも、はながかゆいからついほじくってしまう。ぼくは、きたないって言われたら、そんなにきたないのかって思ってしまう。そんなにきたないの？

先生、分かりますか、この気持ち。もっとみんなとなかよくしたいです。

ぼくは、いつきくんの作文を聞きながら、しんぞうがどきどきした。

ぼくは、知っていた。いつきくんをけつていた人を。そして、ぼくはそれをだまってる見ていた。

ぼくもいつきくんを苦しめていた…。

3

いつきくんいろいろな人が意見を返していた。

「本当は知っていたのに、知らないふりをしました。」

「言ってもむだだと思って、気づかないふりをしたことがあります。」

「いつきくんがいやな思いをしてるって気づいていたのに何もしませんでした。」

いつきくんをけつたれんくんは、何も言わない。覚えてないのかなあ。忘れたふりをしているのかなあ。分かっているけど言えないのかなあ。ぼくは、どうすればいいんだろ。ぼくは、何を言えればいいんだろ。あやまるだけでいいのかなあ。頭の中も心の中もどうしたらいいか分からなくていっぱいになった。(このままだまってるのか。)って何度も思った。

手のひらは、あせてびっしりだった。しんぞうのどきどきはもつと大きくなった。

ぼくは、手をあげた。

「…いつきくんをけつた人って…だれですか？」

って、言った。れんくんが、自分から言うてくれることを

願いながら。

先生は、

「どうしても知らなくてはいけないこと？」

って聞いたけど、だまってきたままだいたらぼくもれんくんも、一生こうかいするって思ったから、

「けつた人は、おばえとらんかもしれんけん…。教えてあげた方がいい。いつきくんの中で、その人はずっとこわい人になるかもしれん…。でも、いつきくんがいやだったことを教えて、その人もちゃんと反省してあやまつたら、またいつきくんと

なかよくなれるから…。」

と言った。なみだが出てきた。言ったあともどきどきはとまらなかつた。

しばらくして、

「おれです。」

って、れんくんが言った。れんくんも声がふるえていた。

「おれが何回もけつたし、きたないとかも言いました。」

言ったあと、泣きながらいつきくんに

「ごめん。」

って、あやまつた。ぼくも、いつきくんに

「いつきくん、ごめんなさい…。」

って、言ってるあやまつた。

4

休みの日、れんくんといつきくんといっしょに自転車に乗って近くの公園に行って、サッカーをしてあそんだ。学校でもあそぶけど、やっぱり外であそぶと気持ちがいい。

(きずな 2020年改訂版 小学校1・2・3年

熊本県人権教育研究協議会 編集より)